

授業科目 社会福祉原論Ⅱ

【担当教員名】 横山豊治	対象学年	1	対象学科	社会
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

<概要>

社会福祉の対象、社会福祉制度と行財政、社会福祉援助の方法・過程および組織・運営、社会福祉改革の動向と課題など社会福祉の基本的事項について検討する。

<学習目標>

1. 社会福祉の対象（社会問題・生活問題・福祉ニーズなど）について理解する。
2. 福祉国家・福祉社会の構造について理解する。
3. ソーシャルワーカー・ボランティア・市民の役割について理解する。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	社会福祉の対象・・・社会福祉の対象のとりえ方についての諸理論		講義
2	社会問題と生活問題・・・社会問題と生活問題の関連および生活問題の構造		講義
3	福祉ニーズ・・・福祉ニーズの概念と把握方法		講義
4	社会福祉の法制度・・・①戦後日本の社会福祉法制度の拡充・改革過程		講義
5	社会福祉の法制度・・・②現行の社会福祉法制度の概要		講義
6	社会福祉・社会保障財政・・・社会保障財政と社会福祉財政		講義
7	民間社会福祉活動・・・社会福祉法人・NPO・ボランティア団体		講義
8	社会福祉援助の方法・・・ゼネラリスト・ソーシャルワークの方法論		講義
9	マクロレベルの方法・・・ソーシャル・アクション、社会福祉政策の立案・決定・実施過程		講義
10	メゾ・レベルの方法・・・地域福祉計画とアドミニストレーション、自治体行政への市民参加		講義
11	ミクロ・レベルの方法・・・個人・家族のケアマネジメントとエンパワーメント、セルフケア		講義
12	社会福祉の課題・・・国際比較に基づく日本の社会福祉の課題		講義
13	社会福祉士の課題・・・社会福祉士の課題と生涯学習		講義
14	まとめ		講義

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書	社会福祉士養成テキストブック①『社会福祉原論』 (前期の原論Iと同じ)	岡本民夫ほか	ミネルヴァ書房	2004年 2600円
参考書	随時紹介する			
その他の資料	適宜、印刷資料を配布する			

【評価方法】 授業中に数回実施する理解度確認小テストの受験と提起試験の結果を総合して評価する。	【履修上の留意点】 社会福祉原論Ⅰの学習成果をふまえて、主体的、積極的に学習すること。
--	--